



税金のつかわれかた

大田区立大森第四中学校 三年 Y・K

わたしは、今の税金の使い方を受け入れられません。

税金がどんどん上がっていつていますが、他国への寄付への兆円、外国人留学生への学費の全額負担など、はらっている日本人に良いことが少なすぎると思います。学費がはらないため、高校や大学進学を泣く泣く断念することや、奨学金を借りたが返すのがつらいなど、最近では珍しいことだと思えます。私も、将来に向けてやりたい分野のことができる高校がありました。残念なことに私立だったため断念し、一般の高校を受けることにしています。このようなことがあっていいのでしょうか。やりたいことがお金のせいではない。外人に使う余裕があるのなら、私たちが日本人につかってほしいです。ここは日本です。

学校に入ったとして、学費、奨学金を返済できない、そのせいで十分なくらいができない。という問題もでてきているのではないですか。「二十歳まで」の自殺率はよく見ますが、二十歳以上の自殺率も上がっているではありませんか。そのような事態をさけるために使われるのが税金なのではないでしょうか。

大田区の税金の使い方をみると、高齢者などへの福祉が約三割を占めているのに対し、私たち中学生につかわれる税金は一割にもなりません。

大田区は子供が増えていっているとききました。子供が増えているにも関わらず、これからも高齢者などの方々に三割ほど使うのなら、将来を担う子供たち「など都合よく良い風に使つのはやめてほしいです。」

今回、税金について調べましたが、感謝よりも不満がとても多いです。なぜ税金があるのか、なぜ増税しなければならないのか、しっかり考えてほしいです。私たちは、生きるために暮らすだけ、生きていくために働くだけ、生きていくために食べ物を買うだけ、それだけで八〜十パーセントの税金をとられてしまいます。その小さな不満が積みかさなって生きるのが嫌になってきている人が大勢います。国会議員などの方々が会議中に寝るときも必死に学んで、必死で働いて、必死に生きています。国について考えているのに寝るのはおかしいですし、十分すぎる給料をもらっているのですから、税金のつかいかたについて考えなおしてほしいです。必死に働いた結晶を無駄にしないでください。」子供は宝「将来を担ってほしい」と口に出すならば、もっと使い方を考えて、私たちのへらしを支えてください。